

平成 26 年度事務事業の評価 2 (案)

1 介護保険料滞納整理事務 (_____ 委員)

結論	1 次評価「現状のまま継続」は妥当である。
理由	対象者が高齢者であること、死亡等による滞納が必然的に発生してしまうこと、成果指標として目標に対する達成率は高いこと、手段別の滞納整理事務としては適切であることなどから、現状のまま継続で良いかと考えられる。 納付方法が金融機関の預金口座による自動引落のみとなっているが、対象者が高齢者であることから他の納付方法による効果は少ないかと思われる。
指摘事項	

2 保育所保護者負担金滞納整理事務（ _____ 委員）

結論	1次評価「見直しの上で継続（効率化を図る）」は妥当である。
理由	<p>納付相談を職員2人で対応しているとのことであるが、滞納件数を考えると不十分であると考えられ、納付相談の件数が不明であることも問題ではある。相談件数及びその後の納付状況を把握したうえで、人員の確保等の見直しが必要と考えられる。</p> <p>また、児童手当からの申出徴収が19名あり、特別徴収は検討中とのことであるが、他の市町村では既の実施している市町村もあることから、早急に導入する必要がある。</p>
指摘事項	納付方法が金融機関の預金口座による自動引落のみとなっている。対象者が比較的若い世代であると想定されるため、利用者の利便性を考慮して、クレジットカードによる納付やコンビニ納付を検討する。

3 水道料金滞納整理事務（ _____ 委員）

結論	1 次評価「現状のまま継続」は、妥当である。
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業に必要な財源の確保、その公平平等な経費負担のために必要な事業である。 ・ 徴収の公平性、滞納者の生存権への配慮、口座引落の促進など、総じて手段・手続きの面で適正かつ的確な運用がされている。 ・ 高い収納率など、有効に機能している。 ・ 徴収業務の上下水道一体化、督促状の低コスト化に加え、平成 25 年度より検針から徴収までの包括的な民間委託を開始しており、これが経費節減に成果をあげているなど、効率性の面でも高く評価できる。 ・ 民間委託は、夜間・休日対応等の機動性の面でも効果を上げている。
指摘事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 滞納後の成果を評価する指標（督促後の収納率等）も必要である。これによって始めて、本事務事業の費用対効果が測定、評価できる。 2 本業務は、市民の生存権に係わる重大な業務であり、過剰な徴収等により市民の生命・健康が脅かされる事態とならないように、行政として委託業者の監督を怠らないことを強く要請する。

4 下水道使用料滞納整理事務（ _____ 委員）

<p>結論</p>	<p>1次評価「現状のまま継続」は、妥当である。</p>
<p>理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道事業に必要な財源の確保、その公平平等な経費負担のために必要な事業である。 ・ 徴収の公平性、滞納者の生存権への配慮、口座引落の促進など、総じて手段・手続きの面で適正かつ的確な運用がされている。 ・ 高い収納率など、有効に機能している。 ・ 徴収業務の上下水道一体化、督促状の低コスト化に加え、平成25年度より検針から徴収までの包括的な民間委託を開始しており、これが経費節減に成果をあげているなど、効率性の面でも高く評価できる。 ・ 民間委託は、夜間・休日対応等の機動性の面でも効果を上げている。
<p>指摘事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滞納後の成果を評価する指標（督促後の収納率等）も必要である。これによって始めて、本事務事業の費用対効果が測定、評価できる。